

ディプロマ・ポリシー			カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>本学科では、本学の定める修業年限以上在学し、共通教育科目・基礎教育科目および専門教育科目を所定の履修方法に従って62単位以上を修得し、次のような能力・資質を備えた者に対し、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。卒業が認定された者には、短期大学士（心理・人間関係学）の学位を授与します。</p>			<p>本学科ではディプロマ・ポリシーを達成するために、人の心と生活について理解を深め、社会生活に寄与できる実践的な力を身につけることができるようカリキュラムを編成します。</p>	<p>本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能・意欲を備えた女性を求めます。</p>
1. 知識・理解	1-1	心理学に関する基礎的知識を有している。	<p>1. 人のこころの理解と援助に関する基礎的知識を習得するための科目を開講します。</p> <p>2. 習得した知識に基づき、社会で活躍できる実力を身につけるために、実践的な演習を実施します。</p> <p>3. 心理学およびその周辺領域を学際的に学び、論理的思考力、問題解決力、コミュニケーション能力、課題探求力、表現能力など、現代社会において必要となる社会人基礎力を習得するために、全学年で実践的な講義や演習を実施します。</p>	<p>人と関わることに高いモチベーションを有し、かつ心理学を体系的に学び、「自分らしさを見つける」「家庭をつくり支える」「自分を社会に生かす」「コミュニティに参加する」など、積極的に未来の自分を創造し、社会で活躍しようとする者を受け入れます。積極的に未来を創造し、社会で活躍するためには、あらゆる場面で知識を活用し思考する力を問われます。したがって、文系・理系という狭い枠にとらわれず、国語、英語、地理歴史、公民のほか、数学、物理、化学、生物といった科目をできる限り幅広く履修し、確かな基礎知識を備えておくことを求めます。</p>
	1-2	社会福祉学に関する基礎的知識を有している。		
	1-3	レクリエーション学に関する基礎的知識を有している。		
2. 技能・表現	2-1	自らの考えを他者に伝えられるコミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力を有している。	<p>教育課程では、講義のみならず、個別発表やグループディスカッション、実践的演習といった教育方法を活用し、主体的な学修を通じた理解を高めます。</p>	
	2-2	他者との円滑な関係を構築し、それを維持しながら多様な人々と協働することができる。	<p>教育課程における学修の評価については、卒業年次に実施する実践系および演習系授業でのグループ発表、または成果物の提出、さらに自己の卒業後の進路に関する決定状況をもって、教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。</p>	
	2-3	社会人として働く上で必要とされる一般常識や技能を有している。		
	2-4	コンピュータを使って、収集したデータを適切に処理し、文書を作成することができる。		
3-1	身の回りの様々な現象を分析的・論理的に考えることができる。			
3. 思考・判断	3-2	自立した女性として、自身のキャリアやライフスタイルを踏まえたライフデザインを行うことができる。		
	4-1	社会の一員としての役割を見だし、積極的に関わろうとする姿勢をもつ。		
4. 態度・志向性	4-2	さまざまな場面で直面する問題や困難に対応できる。		
	4-3	人や社会と関わっていく上で必要とされる誠実性を有する。		